

面積:199,731平方キロ

(日本の本州の約9/10)(全米50州中17位)

人口:884,659人(2019年国勢調査概算)(全米46位)

(白人81.4%,米インディアン9.0%,黒人2.4%,ヒスパニック4.1%,アジア1.7%)(2019年国勢調査概算)

州都: Pierre 愛称: The Mount Rushmore State

サウスダコタ州概要



令和2年7月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

- 知事: クリスティ・ノーム(Kristi Noem)(共)
2019年1月就任, 現在1期目
- 議会構成: 二院制
上院議席数 35 民主党 5 共和党 30
下院議席数 70 民主党 11 共和党 59
- 内政状況:
1964年以降, 13回の大統領選挙で共和党が勝利しており, 1979年来共和党が知事職を占めてきた。連邦議会選挙では, ジョンソン(下院87年-97年, 上院97年-15年) やダシュレ(下院78年-86年, 上院86年-04年)元院内総務等, 民主党連邦上下院議員も選出されている。
デュガード前知事の任期満了に伴い, 2018年選挙にてノーム連邦下院議員(共)が知事に当選し, 同州初の女性知事となった。
その農牧文化から銃携行政策に積極的であり, 学校教員の銃携行が許された最初の州である。Roe対Wade事件の「妊娠を継続するか否かに関する女性の決定はプライバシー権に含まれる」との連邦最高裁判決を覆す目的で, 墮胎を全面違法化する動きがしばしばある程に, 社会的に保守的な姿勢を取る。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 3名
- 2016年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率61.5%)
- 連邦上院議員
マイク・ラウンズ(Mike Rounds)(共)
ジョン・スーン(John R. Thune)(共)
- 連邦下院議員(議席数1名)
共和党1名

経済

【州経済】

- 主要産業
 - 農業: 穀物(トウモロコシ, 大豆等), 畜産(牛, 豚等)
 - 製造業: 食品加工業, 機械工業等
 - 金融業(クレジットカード)
- GDP: 533億ドル(2019年)
- 1人当たり個人所得: 53,925ドル(2019年)
- 失業率: 7.2%(2020年6月)
- 輸出額: 1,354百万ドル(2019年)
- 輸出品目: 加工食品, 一般機械, 輸送用機器, 飲料・タバコ, 電算電子機器
- 輸出相手国(2019年):
カナダ(39%), メキシコ(23%), 日本(6%), 中国(6%), ドイツ(3%),
- 財政: (2018年度)
(出典 U.S. Census Bureau)
歳入: 5,615百万ドル
歳出: 5,243百万ドル
債務残高: 3,740百万ドル
- 経済状況
サウスダコタ州の主要産業は農業であり, 広大な土地を生かしてトウモロコシ, 大豆の他, 牛, 豚等の各種畜産も盛んである。農業に加え, スーフォールズ一帯では食品加工と金融, ラピッドシティでは観光が主要な産業となっている。

【対日経済】

- 対日輸入額: 27百万ドル(2019年)
- 対日輸出額: 75百万ドル(2019年)
- 主要輸出品目: 加工食品, 鉱物・鉱石, 加工金属製品, 一般機械, その他製造品,
- 日系企業の進出状況/雇用数: 約10事業所/約180人(2018年)
- 州駐日事務所なし*

日本との関係

【要人往来】

特になし。

【文化, 広報関係】

スーフォールズには1989年の日本万国博覧会記念基金助成事業で修復された日本庭園(松濤庭園)がある。

【在留邦人数(2019年10月1日現在)】

250人

【日本人学校・補習校数】

なし

【姉妹都市関係(1)】

日光市(旧今市市)(栃木県)ーラピッドシティ(2007年10月再提携)
ほぼ毎年訪問団が往来し, 活発な交流を行っている。

【名誉領事】

ミネアポリス在住のリチャード・E・スタール名誉領事が兼務。

* 駐日事務所は有していないが, コロラド州, ワイオミング州と共に州政府観光局の公式日本語サイト「uswest.tv」を開設し, 日本人観光客の招致に努めている。